



平成 2 年  
 県営武雄工業団地の分譲開始。第1号は(株)西島製作所様。



## 昭和 62 年

長崎自動車道武雄北方から佐賀大和間が開通。開通に先立ち、フルマラソンやサイクリングなどが行われ市民をあげて祝いました。



## 昭和 41 年

庁舎は九州地方建設局で設計され、昭和41年3月20日に完成。水害などに備え、2階に住民サービスが配置されました。

# まちのあゆみ 庁舎のあゆみ

この52年間は、社会的にも武雄市にとっても大きな変化の年でした。その変化の中心には変わらずたたくむ現庁舎がありました。

## 平成 4 年

六角川の洪水調節や水道用水、工業用水の確保を目的に進められていた矢筈ダムが完成。



## 平成 12 年

武雄市図書館・歴史資料館が、「新時代の」「画期的な」という意味がある「エポカル」を名前にとり「エポカル武雄」としてオープンしました。



## 平成 18 年

旧武雄市・山内町・北方町の1市2町が合併し、新「武雄市」が誕生しました。



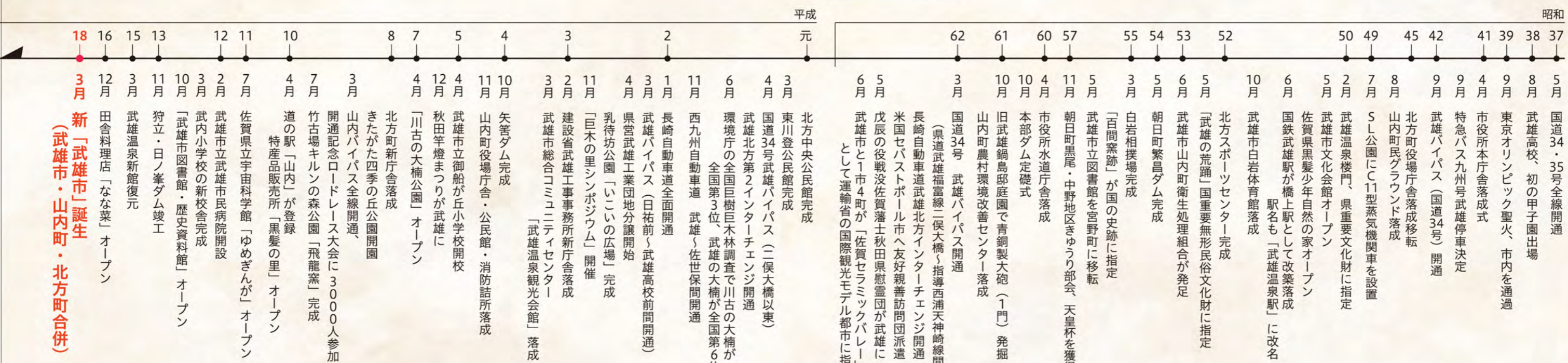
## 昭和 50 年

武雄温泉楼門が県の重要文化財に指定されました。同じ年に、国鉄武雄駅が、県下初の橋上駅として改築落成。駅名も「武雄温泉駅」に改名されました。



## 昭和 39 年

当時の松原交差点や温泉通りの様子。この頃から交通手段をはじめ、社会インフラの整備が進んできました。



## まちのあゆみ